



～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

YOSHINO ワンポイント情報！

【直付け禁止】

コンベヤベルトを使うには、ベルトをコンベヤの中に引き込み、エンドレス加工を行う必要があります。

エンドレスは特殊な技術が必要な為、専門の技能員による施工が多いですが、引き込み作業はお客様自身で実施されることも少なくありません。

ベルト引き込み時の主な注意点として、以下の4点があります。

ベルトの表裏の確認

ベルトを通す位置の確認

ベルトへの損傷回避

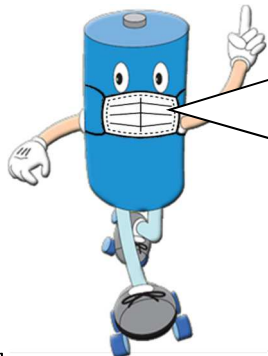
ベルトの進行方向の確認（栈付ベルトの場合）

この中でベルト引き込み後の確認で発見されるのが、ベルトの損傷です。

原因の一つに、引き込み時の安全処置として行うベルトの逸走防止があります。傾斜レイアウトを含むコンベヤでは、傾斜部分にある程度ベルトを引き込むと、自重によりベルトが勝手に進む危険があります。その予防措置として耳部にクランプを取り

付け、レバーブロック等で機体に固定しますが、この時にベルトを直接クランプで締め付けると、カバーゴムが変形してベルトを損傷させてしまいます。

ベルトへのクランプ取り付け時は必ず当て板を使用して、ベルトを挟み込む力が面で加わるようにして下さい。



ベルトをクランプ・固定するものとして、図-1のような治具を使用することもあります。

参考にして下さい。

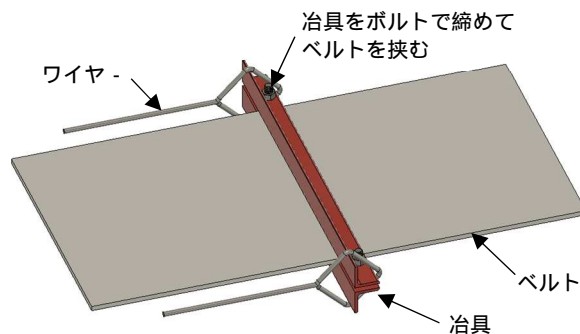


図-1 ベルト固定治具（イメージ）

梅雨入り・台風の襲来と、
例年より早い夏の訪れです。

早めの暑さ対策を行いましょう。